

# 前期基本計画 総括評価シート

## 1 基本情報

施策名	1 - 3 子育てしなくなるまちづくり				戦略名	若い世代定住プロジェクト			
担当	主担当部	健康子ども部	主担当課	子育て支援課					
	部長名	岡本 和哉	関係課	保育課	健康課	学校政策課	教育支援課	生涯学習課	

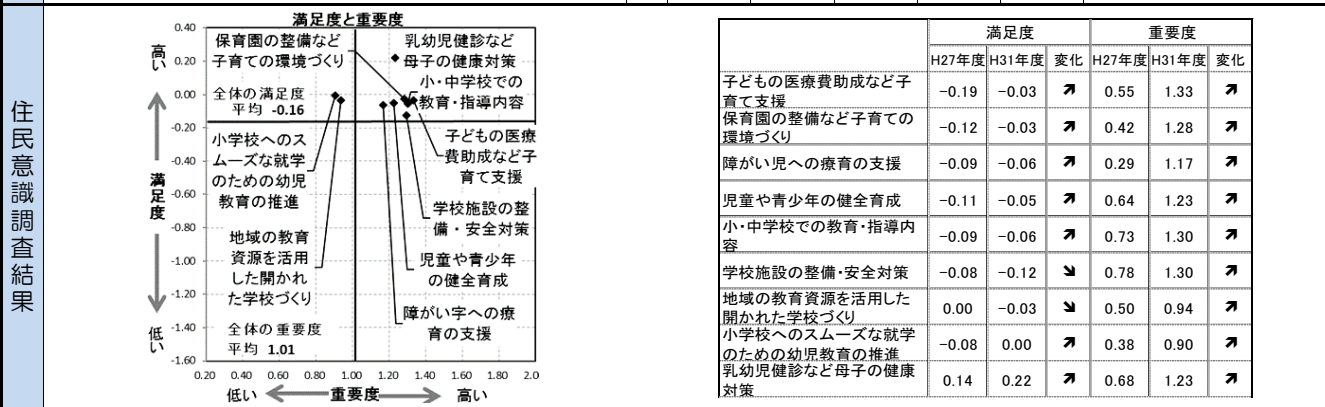
## 2 取組目標

- 子どもの状況に応じて様々な子育て支援サービスを提供することで、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを目指します。
- 子育て世帯を地域全体で支え、のびのびと楽しく子どもを育てられる環境づくりを進めます。
- 子ども一人一人とさらに向き合い、「子どもの教育なら白井」といわれるまちづくりを進めます。

## 3 前期基本計画の成果

取組成果	<b>取組1 利便性の高い場所での保育機会の確保</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期間中に小規模保育所3園、認可保育所1園の開園につなげ、また、私立幼稚園1園での預かり保育の拡充を図るなど、共働きの子育て世代など、様々な保育需要に対してサービスが向上し、保護者の選択肢を増やすことができた。</li> <li>・鎌ヶ谷市内病院での病後児保育実施に加え、平成28年度に白井市内病院において病児保育事業所1園が開設されたことにより、急なニーズにも安心して子どもを預けられる体制が整えられた。</li> <li>・平成29年度から、私立保育所等の保育士の宿舎や駐車場の借上げ費用、月額給与の引き上げに対して補助金を交付することで、私立保育園の保育士確保を支援し、増加する保育需要による待機児童の増加を抑制できた。</li> </ul>
	<b>取組2 子育てに係る経済的負担の軽減</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の中学3年生までの子どもの通院、調剤、入院にかかる医療費に対して助成し、さらに、令和元年8月診療分からは所得制限を撤廃したことで、子育てにかかる経済的負担の軽減や、子どもの医療に対する保護者の安心感の向上につながった。（平成30年度10月から3月までの助成件数59,078件、助成金額106,904千円、平成31年度10月から3月までの助成件数59,851件、助成金額108,459千円）</li> </ul>
	<b>取組3 地域での親や子どもたちの居場所づくりや子育て支援のしくみづくり</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民を活用しながら、市内3か所で放課後子ども教室を実施し、放課後等における地域での子どもの居場所が作れた。</li> <li>・妊娠届出時等における専門職による全数面接や、平成31年度から開始した保育コンサルジュによる施設選びなどの個別相談のほか、各種講座や情報配信を広く行うことにより、親の不安を和らげ、安心して楽しく子育てを行える環境を整えることができた。</li> <li>・関係課等との協議が進み、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援をワンストップで実施する子育て世代包括支援センターを令和3年1月に設置することとした。</li> </ul>
	<b>取組4 児童・生徒の個性に応じた学力向上など生きる力を育む教育の推進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内全小中学校に目標どおりの人数の学校補助教員を配置することにより、児童・生徒の実情に合わせた個別指導や少人数指導を実施できた。</li> <li>・地域を活用して目標以上の数の部活動サポーターを派遣することで、部活動の技術の向上ができた。</li> <li>・各小中学校の事業計画に基づき、地域に応じた特色ある学校づくりを支援することで、地域と一体となって子どもの豊かな心の育成が行えた。</li> <li>・子どもが職業を体験する指定管理者の事業に協力し、子どもの職業観の育成が進んだ。</li> </ul>

施策指標名	単位	基準値	実績値		目標値	達成度	達成状況	
			H28年度	H31年度			R2年度	達成率
白井は子育てしやすいまちと思う子育て世代の割合	%	-	64.5	71.8	67.0	◎	◎	◎ 目標達成 100%以上
保育サービスが充実していると思う子育て世代の割合	%	-	51.6	51.3	61.0	△	○	○ 目標に近づいている 75%以上
医療費助成により経済的負担が軽減されたと感じる子育て世代の割合	%	-	74.2	66.6	74.2	×	△	△ 基準値を現状維持 50%以上
子育てを応援する環境が地域に整っていると思う子育て世代の割合	%	-	58.1	51.3	64.0	×	×	×
待機児童数	人	25	0	13	0	○		○ 基準値より悪化 50%未満
学校満足度（小学生）	%	90.7	93.5	88.7	93.0	△		
学校満足度（中学生）	%	85.1	87.7	87.7	93.0	△		
将来の夢や目標を持っている児童の割合	%	85.0	86.8	83.7	91.0	△		



4 前期基本計画の総括(主担当部長による評価)			
評価	B	A 目標を上回る成果があった	C 目標をやや下回る成果となった
		B 目標どおりの成果があった	D 十分な成果があらなかった
評価理由	<p>成果指標の一部については、現時点では十分に成果が数値に表れていないものもある。</p> <p>一方、数値化できない成果として、各取組においては、女性の社会進出や核家族化に伴う保育ニーズの高まりや、保護者の就労形態の多様化に対応するため、民間保育事業所の誘致を進めたほか、幼稚園での預かり保育の拡充、一時保育の利用時間の拡大や学童保育所の延長保育を実施するなどにより、子育て支援サービスを充実させることができた。</p> <p>また、学校教育においては、補助教員の配置など、子どもひとりひとりに寄り添ったきめ細やかな教育を推進した。</p> <p>これらに加え、住民意識調査においても満足度の向上が見られ、安心して子育てできる環境、教育環境の充実に向けて着実に進んだことから、総合的にみて本評価とした。</p>		

5 後期基本計画への反映
<p>待機児童解消のため、保育を支える保育士の確保に加え、保育士の就業継続や離職防止を図り、保育士が働きやすい環境整備に取り組むことと合わせて、民間保育事業所の誘致を継続し、公立・私立保育園及び私立幼稚園との連携、協力を推進し保育需要に対応する。</p> <p>子育て世代包括支援センターの事業を開始し、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を行う体制を強化する。</p> <p>学校教育においては、子どもの学習環境の向上に向けて、ICTの利活用を推進する。</p>

6 総合計画審議会の意見
<p>「施策1-1 ゆとりある暮らしを支えるまちづくり」に記載。</p>